

教育プロジェクトプログラム

学校教育課題サブプログラム



伝統と進化 東京学芸大学の
総合型教職大学院

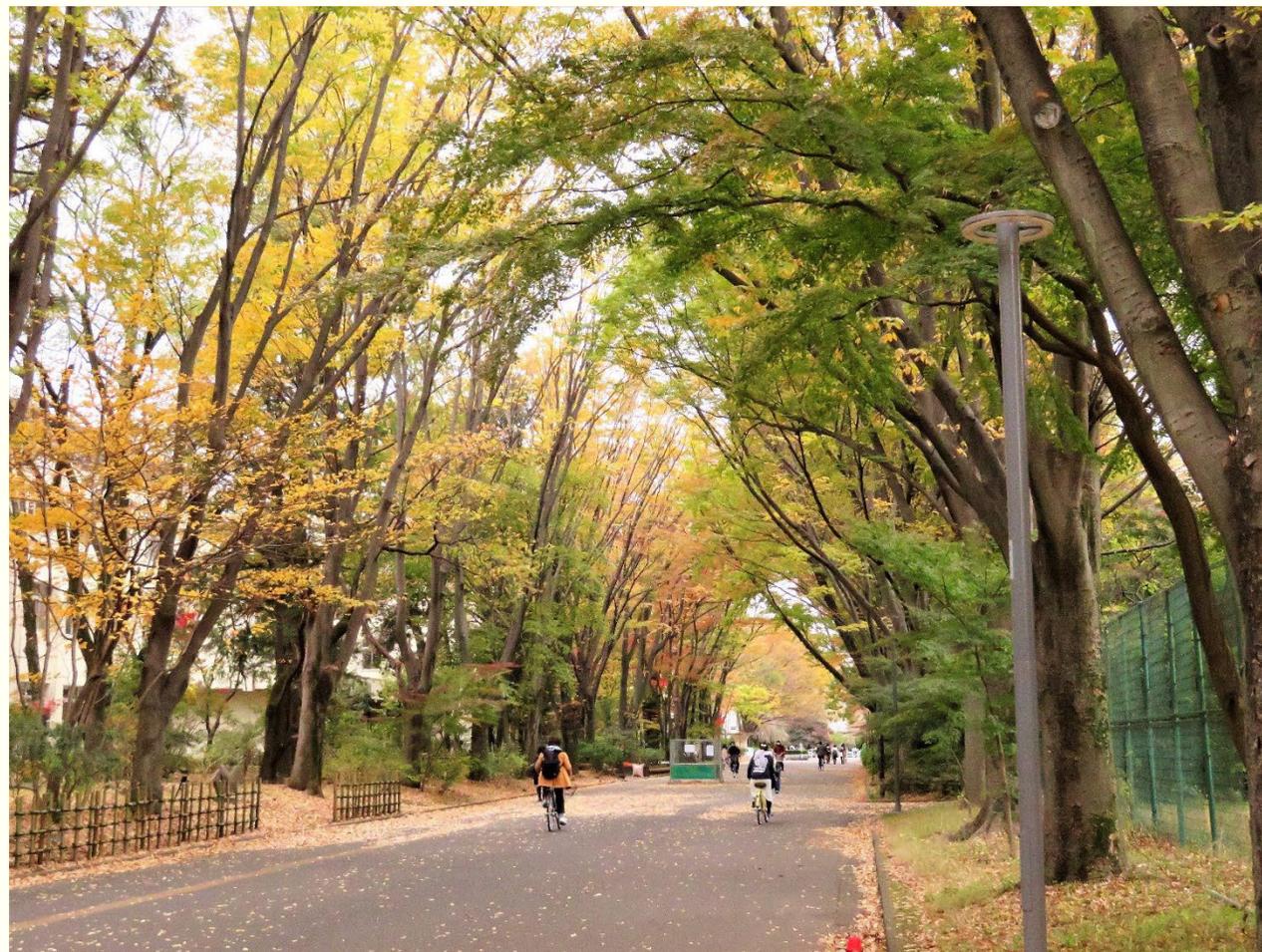
教職大学院 | 教育プロジェクトが育てる力

【教職大学院が育てる力】

- ❖ 実践的な指導力
- ❖ 創造的な改革力
- ❖ 柔軟な実践力
- ❖ 実践と理論の融合力
- ❖ 先導的な組織力

【教育プロジェクトが形成する力量】

- ❖ 喫緊の教育課題に関わる力量



教育プロジェクト 学校教育課題サブプログラムとは

いじめ・不登校の臨床的な課題、国際理解や多文化共生、環境教育など教育実践上の課題を分析し、状況等に応じた対応するため、教職員をはじめ多様な人材を組織化する能力など高度で専門的な能力を育成するためのプログラムです。

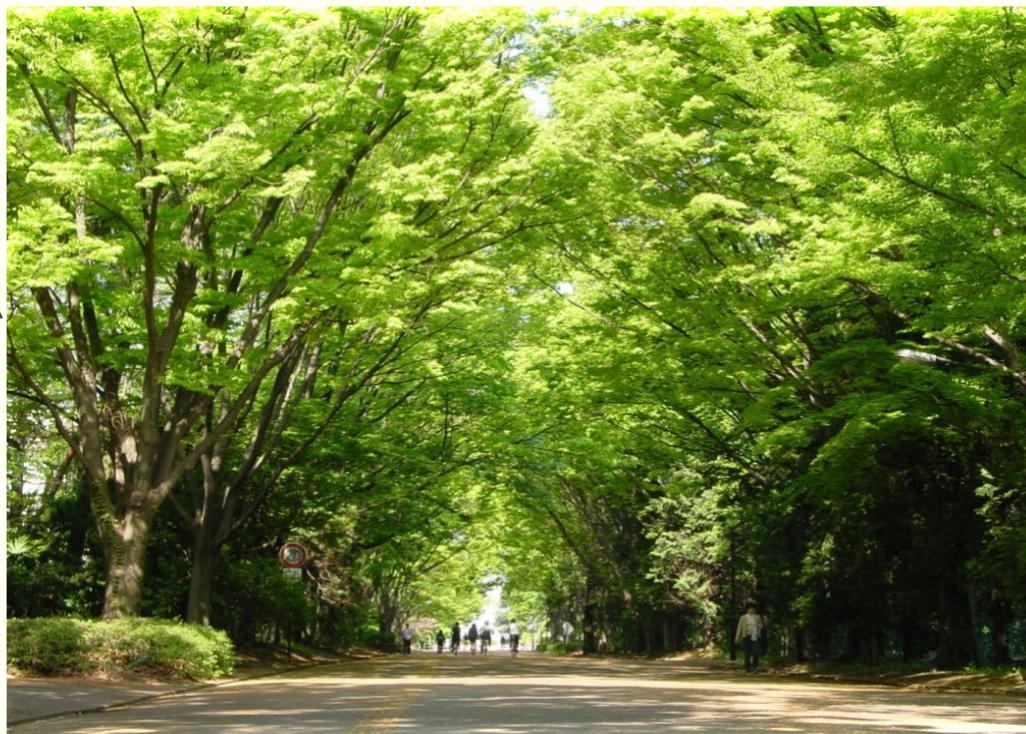
■ 学校教育課題プロジェクト

【扱う学校教育課題】

喫緊のさまざまな学校教育課題

- ・いじめ ・不登校 ・学校不適應
- ・子どもの貧困 ・教職をめぐる問題
- ・教育相談、コンサルテーション ・インクルーシブ教育など

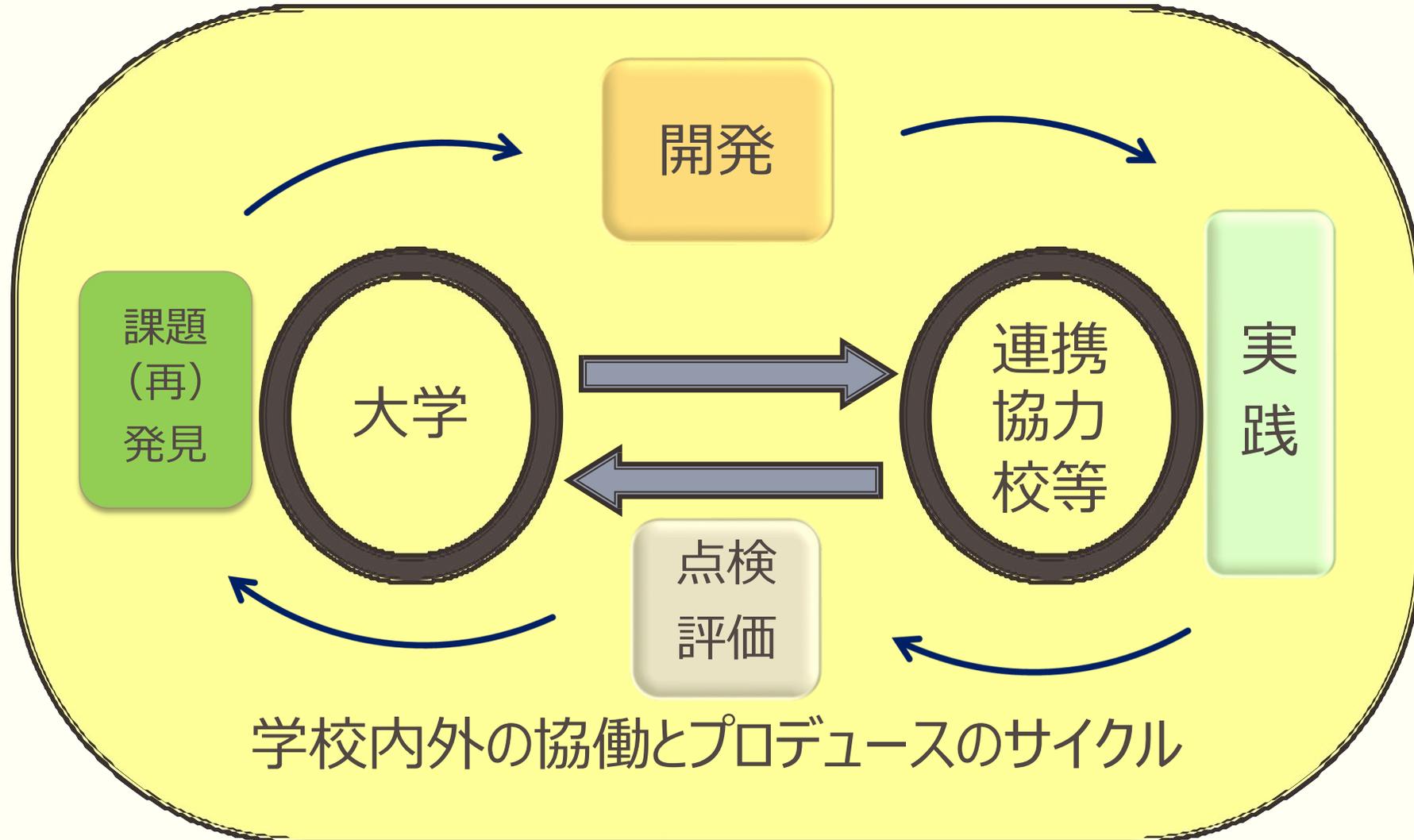
上記の諸課題を多角的に分析し、状況に応じた対応・助言できる、高度で専門的な能力を育成します。



カリキュラム構成（科目群の構成）

❖専攻必修科目	: 10単位（5科目）	※共通5領域を専攻全体で開設
❖プログラム必修科目	: 6単位（3科目）	※基礎科目1科目，演習2科目
❖高度選択科目	: 16単位（8科目）	
❖教職専門実習	: 10単位（必修）	※現職教員は2単位（8単位は免除）
❖課題研究	: 4単位（必修）	※時間割外（8単位まで修了単位への算入可）
<hr/>		
❖合計	: 46単位	

カリキュラムの特徴



共通科目

5
領
域

カリキュラムデザイン

カリキュラム開発の方法を学びます

授業実践研究

授業実践研究の方法を学びます

子どもの理解と支援

子どもの理解と支援方法を学びます

教員のための
学校組織マネジメント

学校組織や学級運営の方法を学びます

教師の社会的役割と
キャリア形成

教師として社会的役割を意識化し、
キャリア形成について学びます

学校教育課題サブプログラムが提供する
プログラム科目（選択必修科目） 高度選択科目（選択科目）

3
科
目

学校教育課題の現状と
実践プログラム

学校教育課題演習Ⅰ

学校教育課題演習Ⅱ

4
科
目

特別活動・生徒指導の
理論と方法

子どもと教師を
めぐる問題の検討

教育相談と教育臨床の
理論と方法

学校教育課題の
研究開発法

教職専門実習

■ 目的

【学卒生】大学院と実習校との往還。理論と実践との往還により、以下の5領域について、その実践を総合的かつ客観的に観察したり、体験・参画したりすることにより、実践的な指導力を身に付け、教師としての資質・能力を高めていきます。

【現職院生】以下の5領域における自らの実践を相対化し、さらに伸ばすべき自らの資質・能力を開発します。

【領域 1】 教育課程の構成・実施に関する領域

【領域 2】 教科等の実践的な指導法に関する領域

【領域 3】 生徒指導、教育相談に関する領域

【領域 4】 学級経営、学校経営に関する領域

【領域 5】 学校教育と教員の在り方に関する領域

教職専門実習

- 特徴：学部実習とはここが違う

【特徴 1】 実務研修的性格：
教員免許状を有する者により行われる

【特徴 2】 研究的実践性格：
実習期間中も共通科目、選択科目などの
授業と往還し、同時に課題研究を行いながら
実習は行われる

- ・学校教育課題サブプログラムの特徴

教科指導のみならず、生徒指導・教育相談、特別活動・総合的な学習の時間、進路指導・キャリア教育、インクルーシブ教育など、学校と社会をめぐる諸問題に着目しながら実習を行います。

教職専門実習とリンクした課題研究

- 学生が自らの問題意識に基づき課題を設定する
- 実習等を通して、課題の実践的な解決をめざす
- 公開発表会等で研究成果を発表・発信する

課題研究（専門学術論文）

教職専門実習

プログラム科目：高度選択科目

共通科目

課題研究

【過去の課題研究題目例】

- 生徒の部活動への動機づけと部活動満足度の関係について－自己決定理論に基づく検討－
- 学習意欲の格差とその克服のための指導－SNS 上のつながりへの着目と道徳の授業実践－
- 子どもの居場所に関する考察－カフェZにおけるフィールドワークをもとに－
- ネガティブな感情の表出を支援する教師のかかわり方に関する－考察－学級全体へのSST の授業実践を通して－
- 子どもの貧困に対する教員の認識－豊かな地域におけるインタビューからの考察－
- 不登校・学校不適應の未然予防につながる教師のかかわり－「子ども支援志向性」の検討－
- 中学校生徒の自尊感情向上を目指す教育活動の開発－感情の言語化の視点から－
- 「学校アジール」としての教育相談室－X高校における「ひといきる－む」の活動から－

担当教員

教員名	専門分野	研究テーマ
金子 真理子	教育社会学	学校文化、カリキュラム、教職の社会学的研究
林 尚示	教育方法学	特別活動、生徒指導、人権教育、総合的な学習 の時間等の研究
伊藤 秀樹	教育社会学	教育問題、生徒指導、進路指導・キャリア教育、 自立支援
腰越 滋	教育社会学	子どもの社会化、子どもの読書と社会性涵養との 関連、データ解析
小林 玄	教育臨床心理学	教育相談、コンサルテーション、インクルーシブ教育
松山康成	教育心理学	修復的アプローチ、ポジティブ行動支援、生徒指導、学級経営
平原 保(特命)	教育経営学	学校経営、生徒指導、スクールロイヤー